

# わたしの おぎくぼ

発行: 荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128  
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>  
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28~1/4  
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28~1/4



第37回

## アート展

日時: 2月6日(土) 午前10:00~午後4:00  
7日(日) 午前10:00~午後3:30

会場: 荻窪地域区民センター

来て! 観て! 楽しんで!



- 絵画・版画・書道・絵手紙・彫刻・陶芸・木工芸・彫金・染色・写真・短歌・俳句・川柳 等
- 小学校・中学校の生徒作品

★スタンプラリー抽選会  
(先着400名)

★喫茶コーナー



主催: 荻窪地域区民センター協議会 杉並区荻窪2-34-20 ☎03-3398-9127  
<http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

この街に  
この人あり

# 「バラの風車」で 笑顔を



佐藤正義さん

今回は、今川一丁目「幸せを運ぶバラの風車(かざぐるま)」という任意団体を立ち上げ、おり紙を通じて、子どもたちやご高齢者への地域支援活動を続けている佐藤正義(さとう・まさよし)さんにお話を伺いました。

## どのような動機で活動を始められたのですか？

8年程前、すぎなみ地域大学で「地域で子育て支援講座」を受講したのをきっかけに、おり紙を使って子どもと触れ合う活動が何かできないかと考えました。2008年から杉並区の児童館や地域祭りなどで、おり紙ワークショップ活動を始めました。活動したことで、今、子どもたちが大人と関わる遊びを求めていることを痛感しています。



児童館での活動



花のおり紙作品

## 「バラの風車」を始められたのはなぜでしょうか？

友人から教わったバラのおり紙がきっかけです。この素敵なバラにもっと楽しい工夫はできないかと考え、可憐に回る「バラの風車」が誕生しました。ワークショップに参加いただいた皆さまに「バラの風車」をプレゼントして、たくさんの笑顔をいただいています。

この「バラの風車」を使って笑顔の輪を広げていきたい、そんな想いから「幸せを運ぶバラの風車」と名づけました。

## 団体としての活動は？

2012年に団体を立ち上げました。会員は25人です。会員から年会費として2千円をいただき、材料費や運営費として活動を行っています。会員はおり紙を覚えて児童館でおり紙ワークショップに参加したり、配布用のバラを覚えて、自宅で作ってストックし、事務局に持ち寄り、そのバラを風車にして、皆さまへの配布活動を行っています。



バラの風車 カプセル

## これから考えていらっしゃることは？

日本を訪れた外国の人達や、難病を抱えている方への応援(エール)としてプレゼントし、「バラの風車」で笑顔になれる人を増やしていきたいと思っています。発足から3年間の活動で12,000個のバラを配布しています。

連絡先: 佐藤正義 03-3396-0188(Fax兼用)  
携 帯: 090-8317-8037  
mail: satoh@rose-windmill.org

## 「荻外荘は荻窪のまちづくりの決め手になるか」

杉並区が購入した近衛文麿元首相の邸宅「荻外荘」。国の文化審議会がこのほど国史跡として指定するよう答申したことで、改めて脚光を浴びています。近隣には大田黒公園や角川庭園があり、「歴史文化ゾーン」を形成しています。荻外荘を荻窪のまちづくりにどう生かしていくのか。都市計画の専門家で、まちづくりプランナーの高見澤邦郎・首都大学東京名誉教授が解説します。

●日時: 平成28年2月27日(土) 午後2時～4時

●場所: 荻窪地域区民センター 第1・2集会室

(詳細はp4の「講座案内」をご覧ください)



高見澤邦郎氏

## 講演会

# 『キューバ大使 大いに語る』

1月16日(土) 当センターの第1・2集会室で、キューバ大使マルコス・ロドリゲス氏の講演会が行われ、約80人の方々に参加されました。大使のキューバへの熱い想い、日本との関わりなど、約1時間の講演に聴き入りました。最後の質疑応答で、大使はユーモアあふれる返答をされ、その思慮深く優しい人柄を感じることができました。



キューバ大使(左)

「会場いっぱいの皆さんに、キューバの政策、国民、文化などについて少しでも多く知っていただけたら幸いです」と想いを込めて語られた講演の要旨は以下の通りです。

1492年にコロンブスによって発見されたキューバは、400年にわたりスペイン帝国の植民地となりました。1898年スペインから独立しましたが、アメリカによる経済支配が続きました。1959年フィデロ・カストロが

キューバ革命に勝利し、真の独立を達成したのです。その後アメリカとの対立は続いていましたが、2015年に正常な外交関係を復活しました。

キューバのルーツはスペインをはじめ、アフリカなどいくつかありますが、現在のキューバはそれらが融合されています。音楽を初めとする芸術、伝統文化、料理、ラム酒など、様々な魅力ある文化が人々を惹き付けています。緑豊かな土地、トルコブルーの美しい海、そして、陽気でフレンドリーな人々もキューバの宝と言えます。

日本との国交はすでに80年を超えています。これからのキューバと日本との更なる関係強化を思う時、両国に素晴らしい交流があり、お互いに親近感と人間的な暖かさがあることに誇りを感じています。お互いに島国の人間として文化面、国を愛する気持ち、友情、世界平和の努力など非常に近い存在なのです。



## 講座

# 落語と曲芸の熱演を楽しむ ―恒例の「荻窪寄席」―

年末恒例の「荻窪寄席」が12月13日(日) 午後2時から、当センターの第1・2集会室で行われ、約80人の入場者にお馴染みの金原亭馬玉さん(真打)の落語と翁家和助さんの曲芸を楽しんでもらいました。耳が不自由な人も唸の内容が分かるようにと、高座脇のスクリーンにリアルタイムで字幕を投影するのが「荻窪寄席」の大きな特長。馬玉さんは「三方一両損」と「味噌蔵」の2題を披露。和助さんは解説付きで曲芸を演じました。二人の年季が入った芸に観客から「中途難聴で趣味が何もできず絶望していた。今日は大声で笑い楽しんだ」「字幕付きの落語は他にない。毎年ありがたい」などとコメントをいただきました。



金原亭馬玉さん



翁家和助さん

## 荻窪まちづくり会議 ～最終レポート～

昨年12月9日、私と副代表4名にて田中良杉並区長に「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」を提案してまいりました。区長には構想取りまとめの経緯や苦労話、そして構想の実現に向けた重点的な取組について説明させていただきました。

ここまでこれられましたのも2年半という長期にわたり会議に参加してきた会員は元より、様々な貴重なご意見をいただいた地域の皆様方のご支援・ご協力の賜物だと思います。ここに改めまして感謝申し上げます。

さて、荻窪まちづくり会議では今年度残り2回全体会を行い、今後、どのように構想と関わっていくかを議論していく予定です。今後も更なる皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

荻窪まちづくり会議代表 矢澤規充



田中区長に「荻窪駅周辺まちづくり構想」を提案

## 講座のご案内

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
荻外荘は 荻窪のまちづくりの 決め手になるか	近衛文麿元首相の邸宅「荻外荘」が国の史跡として指定されることが確実となりました。荻外荘を荻窪のまちづくりにどう生かしていくのか。地域の皆さんと一緒に考えます。／高見澤邦郎(首都大学東京名誉教授)	2月27日(土) 午後2時～4時	60名	200円	2月7日(日)
杉並の川を巡る	地形を調べて川と人々の関わりを学びます。一回目は教室で、二回目は実際に荻窪周辺の川や暗渠を回りながら解説をします。／野田栄一(杉並文化財保護ボランティア)	3月6日(日)、13日(日) 午後1時30分～3時30分	30名	200円	2月21日(日)
石井桃子のかつら文庫	児童文学者・石井桃子さんが荻窪の自宅を子どもたちに開放した「かつら文庫」。そこにこめられた石井さんの思いを講演と文庫の見学で探ります。／内藤直子(東京子ども図書館)	3月10日(木)、17日(木) 午後1時30分～3時30分	30名	200円	2月21日(日)
荻窪ゆかりの作家の 短編を読む	井伏鱒二、太宰治など荻窪に縁の深い作家の短編小説を、講師を中心にじっくりと鑑賞します。知っているつもり作家の再発見につながるかも。／生田美秋(世田谷文学館前学芸部長)	4月4日、18日、5月2日、16日 (隔週月曜日) 午後2時～4時	20名	300円	3月19日(土)
健康スポーツ吹き矢	深い腹式呼吸により健康増進が図れるだけでなく、競技としても楽しいスポーツです。講座ではその基礎を学びます。／牧野繁男(日本スポーツ吹き矢協会杉並総支部長)	4月7日、14日、21日、28日 (各木曜日) 午後1時30分～3時30分	30名	800円 (内材料費600円)	3月21日(月)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④性別 ⑤年齢 ⑥電話番号を明記のうえ 〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 ※申し込み多数の場合は抽選です。

### 郷土博物館分館企画展・区民参加型展示 問い合わせ: ☎5347-9801

#### 分館企画展(西棟2階)

##### 「ひながたり～ひな人形をかたる～」

3月3日はひなまつりです。今年は分館でもひな人形を展示します。江戸中期に花魁の高尾太夫が紺屋にお嫁入りするときに持参したものと伝えられる「芥子びな」も登場予定です。

ひな人形たちがかたる「ひながたり」にそっと耳を傾けてみませんか。

【開催期間】平成28年2月20日(土)～3月27日(日)

#### 区民参加型展示(西棟1階)

##### 「杉並区の小学校校歌 ～子どもたちはなにを歌ってきたのか～」

小学校の校歌を通して、子どもたちがなにを歌ってきたのかを見つめます。小学校の沿革や校歌成立までの背景とともに、その歌われた風景や志など歌の世界観を紹介します。

【実施団体】NPO法人すぎなみムーサ

【開催期間】平成28年1月9日(土)～3月27日(日)

【展示解説】2月11日(木・祝)午後1時～3時

申込不要／参加費無料／解説:NPO法人すぎなみムーサ

#### 体験コーナー(西棟受付前)

##### 「昔はどうやって火をおこしたのかな？」

舞い切りで「火きり」、火打石と火打金で「ひうち」などの体験ができます。むかしの人にチャレンジしてみよう!

【開催期間】平成27年12月18日(金)～平成28年3月下旬

#### 【共通】

- ・場 所: 杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
- ・開館時間: 9時～17時
- ・休館日: 毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- ・観覧料: 無料
- ・問 合 せ: 電話03-5347-9801

## 地域からのお知らせ

### 杉並区立松溪中学校吹奏楽部 第7回定期演奏会

【開催日】平成28年3月30日(水)

【開 場】午後5時30分

【開 演】午後6時

【開催場所】セシオン杉並

【料 金】無料(入場には整理券が必要です)

【曲 目】呪文と踊り

カーニバルのマーチ2011

吹奏楽のための文明開化の鐘 他

【問い合わせ先】

杉並区立松溪中学校 中瀬古(なかせこ)

03-3392-7328

\*このコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。  
FAX番号 3398-9128

### 荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

#### ■委員会の日程

2月23日(火) 13:00～ 会場: 第1・2集会室

3月29日(火) 13:00～ 会場: 第1・2集会室

※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。